

\*家庭・地域の教育力を高め、青少年の健全育成に努めよう。  
\*審議会等政策決定の場へ女性の参加を促進しよう。  
\*循環型社会をめざし、地球環境を守ろう。

# 県婦連ふくおか

第 54 号

発行  
福岡県地域婦人会連絡協議会  
〒812-0046  
福岡市博多区吉塚本町13-50  
発行責任者 木下 幸子  
TEL 092-643-1440



## 『リスタート』

福岡県地域婦人会連絡協議会

会長 木下 幸子

新年明けまして  
おめでとうございます。  
皆様方のご健康とご多幸を  
心からお祈り申し上げます。

新型コロナウィルスの大流行から3回目の新年を迎えた。これまで、緊急事態宣言とまん延防止措置が繰り返される長い日々でしたが、社会活動の自粛とワクチン接種が功を奏したのか、感染者数が激減し、婦人会は昨年10月から活動を再開し、11月には一年延期になっていた全国地域婦人団体研究大会長崎大会も無事に開催され、年末からは3回目のワクチン接種も始まりました。これでようやく日常を取り戻せる日が来ると思った矢先に新たな変異株が流行の兆しを見せましたので、引き続き、活動と感染防止対策はセットにして行わなければなりません。

さて、これまでのコロナ禍を振り返ってみて、流行の前と今では気持ちや行動に何か変化はありましたでしょうか。非日常だった「新しい生活様式」にも次第に慣れ、いつの間にかそれが新たな日常となり、ICT機器を活用して仕事はリモート化・研修・会議等はオンライン開催など今まで当たり前だったことが当たり前でなくなつたように思います。

ただ、私たちの原点は仲間をつくり、学び、一緒になつて様々な地域課題の解決に取り組んできたことです。だからこそ、コロナの禍中に気づいたこと、思いを新たにしましたことはとても大切なことです。その気づきや思いを仲間と共有し、今後の婦人会活動に活かしていくかなければなりません。

今年は気持ちを新たにして再出発するときです。コロナの変異株も懸念されますが、一年を通して元気に楽しく活動していきましょう。

## 「複十字シール運動」について

(古場)

第72回結核予防全国大会がオンラインで開催されました。決議文の中に、新型コロナウィルス感染症や結核を含めた感染症の予防と感染症に対する偏見をなくすために、市民に対する正しい知識の普及・啓発を推進し、複十字シール運動を活発化すること、とあります。

コロナ禍にあって私たちは消極的になりがちですが、こういう時だからこそ複十字シール運動をがんばらなくてはいけないのだと気付かされました。

(廣石)

## ようこと大木町へ

緊急事態宣言が明けたすぐの10月7日に、県婦連の移動定例会が大木町で開催されました。

到着が遅れたこともあって、午前中あわただしく定例会が終わり、昼食は野菜中心のメニューが並ぶレストランで楽しんで頂きました。

午後からの研修は、し尿や浄化槽汚泥と生ごみをメタン発酵させる大木町の有機物循環の取り組みについて熱心に学習されました。道の駅でのおみやげもたくさん買って頂きました。

コロナ禍で、何のおもてなしも出来なかつたのが心残りですが、来て頂いただけでも良かつたなと喜んでいます。ありがとうございました。機会がありましたら、ぜひ活動していきましょう。

## 令和三年度九州八県赤十字大会

日時 11月11日(木)

受賞おめでとうございます

環境大臣賞  
那珂川市婦人会

会長表彰  
一般財団法人日本防火・防災協会  
会長表彰  
福岡県女性防火クラブ副会長  
池田 穂波



県知事表彰  
環境保全功労者知事表彰  
小竹町男女共同参画会

大川市教育委員会感謝状  
大川市連合婦人会  
三又校区会長 今村桂子  
川口校区会長 古賀豊子



令和3年度  
環境保全功労者知事表彰  
福岡県環境保全功労者表彰  
福岡県植物農業会

多年にわたり、環境保全活動を積極的に推進したことに対し表彰されました。

永年の婦人会活動の功労により大川市教育委員会より受賞されました。



「全地婦連」は、

全国48の加盟都道府県市団体を通じた  
地域女性会／婦人会、地域女性団体の  
全国ネットワーク組織です

### 第3分科会 組織 「組織力を高める」「ミニケーション ・婦人会員一人ひとりの力を活かす」

講師

長崎県立大学経営学科准教授

津久井 稲緒氏

コロナ禍の中、家族との団欒や友人との語らい、地域の活動など感染症拡大でコミュニケーションは大きく変わったが全國地域婦人会はどのようなコミュニケーションを心がけているのだろうか。

婦人会という組織を経営学の観点からどのようないュニケーションが求められているのか、組織力を高めるためにコミュニケーションを見つめ直すことが重要である。「だれもが平和で豊かな暮らしを送ることができる地域社会づくり」という目的のために婦人会は組織されている。

組織力を高めるため会員一人ひとりの自発的な意欲を引き出すコミュニケーションが求められている。

①共通目的や意義、組織の中での役割を伝える  
②組織力を高めるために「きく」コミュニケーションーションをみがこう

③メンバーの貢献意欲・創造性を引き出そう  
④コミュニケーション量が多い人である。  
⑤論理、感情、行動の不一致  
⑥やり方を変えないこと  
⑦途中であきらめることである  
その人に責任ある仕事を任されることを望む、とう内容でした。

久しぶりに楽しい分科会でした。  
(安河内)

「婦人会。女性の皆様の御活躍を」。この言葉で結ばれた。

### 記念講演 「変わってしまった女」と 「変わりたくない男」

講師

元福岡教育大学教授

三浦 清一郎氏

平均寿命の差から見ても、配偶者相互の年齢差から見ても生き残るのは女性である。

男性優位社会が続いたのは、生物学的・歴史的からみれば「男女の筋肉差」と「道具の貧困」であった。しかし、道具の「機械化」と「自動化」が「筋肉差」を極少化し、女性の意識を変えるようになる。

男性優位社会の特權と居心地のいい場所にいる男性は「変わらない」。

女性の意識は自立に向かっている。男性が変わらなければならぬ。

はじめの一歩は動かしてみることから

つなげる一步は変えてみることから

そうしないと老後の夫婦共同参画は困難である。「家事」を労働と認めない男性文化が残っているからである。定年男性の五ヶ条

○「家事」を労働と心得よ  
○整理整顿 自分のことは自分でせよ  
○妻を上司と心得よ  
○家事をゼロから学べ  
○「ありがとう」を口癖にせよ

2021年11月2日  
第69回全国地域婦人団体研究大会



### 決議

1. 男女共同参画社会の実現に向けた行動
2. 環境問題への取り組み
3. 食の安全・食品ロス削減に向けた行動
4. 消費者保護・特殊詐欺防止活動への取り組み
5. 子育ての環境づくり
6. 福祉・健康問題への取り組み
7. 平和運動の継続
8. 防災・減災活動への取り組み
9. 防災・減災活動への取り組み
10. SDGs (持続可能な開発目標) 活動の推進

2015年国連サミットで採択されたSDGsの十七の目標は、今まで婦人会がおこなってきた活動そのものです。今後も持続可能な社会の実現に向けて活動を進めます。

昨年はコロナの為に中止となりましたが、今年はオンラインでの開催となりました。本番は10月3日(日)、準備は7月から行われ、慣れない語句に戸惑う事だらけ。事前にスタジオに行つての、地産地消の郷土料理パネルを見せながらの動画撮影は、新鮮そのものでした。

地域婦人会の活動に「自分の命は自分で守る」という精神があります。生活習慣病対策の為の研修会。実習は、互いの思いや感謝の心が育まれ、心の豊かさで広がっていきます。

「食を通しての幸せのお裾分け」活動は、ふくおか健康づくり県民運動にも繋がり、長生きして良かったと実感できる社会のためにも繋がっていくのだと伝えました。

### 令和3年度第20回健康21福岡大会

福岡県では、ここ数年毎年豪雨災害が発生しています。そこで県では、災害時にリーダーシップが發揮できるように、平常時にリーダーシップをとりつづ、何にどうやって取り組むべきか等、講演会や研修会が各地域で6回開催されました。

内容は防災気象情報の利活用、災害図上訓練、避難所運営ゲーム(HUG)などを通じて、災害時の地域における避難生活のあり方について勉強しました。福岡県女性防災クラブより、81名出席しました。

### 令和3年度福岡県自主防災組織 リーダー研修会



#### 次回開催

第74回九州地区地域婦人大会  
日時 令和4年11月24日(木)・25日(金)  
場所 大分県

## 新任の挨拶

添田町婦人会 重松 美津子



田中会長退任により、本年4月より会長に就任しました重松です。何事においてもポジティブな、田中会長の下で副会長として楽しく活動してきました。不安ですが、皆様のお力を借りて、頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

## 退任の挨拶

添田町婦人会 田中 妙子

婦人会員の皆様お元気でお過ごしでしょ  
うか。コロナも終息の状態ではあります  
が、まだまだ油断出来ません。  
私は6ヶ月の県婦連の役員を皆様の御支  
援のお陰で無事退任することになりました。

木下会長を中心にさまざまな行事に積極的に参加させて頂きました。  
地域婦人会も町にとってかけがえのない団体で、その継承を守るのが私の使命と思い会員の協力あつての活動でした。  
女性の地位向上を目指し皆様の御活躍と御健勝をお祈りし、  
お礼の言葉とさせて頂きます。

## 亡白井静子さんの思い出

「白井さん、アイスクリームおいしいよ」と声をかけると

「そうやね。なんでも少しずつ食べたいからアイスクリームは後で」といつて笑った。  
たわいもない会話であったが、この日が白井さんとの最後の

言葉かけにならうとは思つてもいませんでした。

この日とは、10月7日県地域婦人の研修会が大木町であつた日であります。

私が声をかけたのは、くるるんというバイキングレストランでの会話でした。

10月17日の通夜で、たくさんの花ばなに囲まれて、微笑む写

眞の姿を見た時、「本当だったのだ・・・」

なんともいえない悲しさがわいてきました。白井さんは笑顔美

人で笑うとその魅力を發揮し、人と人を繋いでおられました。

吉井弁で「・・・しちょう」の言葉づかいが、自然的で味を深めておられましたので、それが聞かれないとと思うと残念でたまりません。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。

## 第69回

### 全国地域婦人会団体研究大会 九州地区地域婦人大会

日時 令和3年11月1日(月)・11月2日(火)  
場所 長崎県 長崎ブリックホール

櫻井よう子全地婦連会長からは、「全地婦連は、昭和27年発足し、令和4年で70年になる歴史ある女性団体である。少子高齢化の今日だからこそ、次代を担う若い女性に思いを繋げていきたい」と挨拶された。

### 特別講演「和華蘭」文化に学ぶ 長崎総合科学大学教授 ブライアン・バークガラ氏

ブライアン氏は、カナダ生まれで日本に来て50年になる。妻は日本人で日本語が上手な大学の教授であつた。外国人から観た長崎のまちの歴史や生活について「和華蘭」の視点からの講演があつた。とても解りやすく、内容も良かつたです。これが「わからん」文化です。

長崎港は、国際港として栄えて来たが、その型は鶴の首の型をしており美しい港であった。和華蘭文化の、和は日本、華は中国、蘭はオランダをさしている。これが「わからん」文化です。

まず、中島川にかかる「めがね橋」の魅力。「だれがこの橋を作ったのだろうか」と興味を持つた。ヨーロッパのベネチヤには、この様な型の橋はたくさんある。

この、めがね橋は日本人の手によって作られていました。興福寺の黙子始定禪師が架設したもので、長さ22m、幅3・6m、川面までの高さ5・4mで日本最初のアーチ式石橋で川面に映つた影が双円を描き、この会話をしました。

中島川には今なお多くの石橋群がある。これは、吉井弁で「・・・しちょう」の言葉づかいが、自然的で味を深めておられましたので、それが聞かれないとと思うと残念でたまりません。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。

利益追求するなかで喧嘩にならなかつたことは、代理人が学ぶことだとブライアン教授は話された。(利

益は話し合いで決める。それを互に認めることで喧嘩にならなかつた)。今日の「世界サミット」は平等であることはあたり前になつているが、長崎では戸戸時代から、この知恵があつたことは誇らしく感じる。「食文化」でも和華蘭文化をみることが出来る。それが「草紙料理」である。

卓は食卓を現し、袱は食卓にかける布を意味する。御馳走は一つの卓に唐人料理、西洋料理、日本料理が並ぶ、まさに和華蘭文化です。御菓子では、カスティラが有名、それも砂糖屋は人気がある。福砂屋の包装紙には蝙蝠マークが入つていて、「このマークは【崇福寺】の門に彫刻で残されている。これは中國語、福、フウと発音する。蝠フウと同様發音をする所から、幸せのマークとして使われたもの。

貿易をするために入つて来る船は、唐人船、オランダ船、外国船など港に入つて来たが、女性は船に乗つていかなかつたので、男性の相手をするのは、日本本の女性であつた。「蝶々夫人」のように悲しむ女性もいれば、しっかり金儲けした女性もいた。画家竹久夢二は大正7年に長崎はたあげをしていながら、女性の弱さを描いています。日本の女性は弱そうに見えるが、実は、しっかりと見ただけで、わからん。

「綿裏有力」の言葉があるが、ちょっと見ただけでは、わからん。

しっかりと深くみると、女性の輝きが見えてくるからである。という講演でした。

るさとの「人と人、家庭、地域、学校のつながり」の再生は急務です。地域婦人団体が創設された当時と比べ社会は大きく様変わりしました。人が減り、高齢者が増え、社会の中でつながりの再生を基礎にしたふるさと人材の育成に向けた、地域婦人団体の新たな役割と課題を考え、実践していくことが求められていると結ばれました。

### 第2分科会 環境 「海洋汚染を考える」

講師 長崎大学教授 清水 健一 氏

近年、海洋ごみに対する世界的な関心の高まりを受け、「海洋ごみの漂着」や海岸・沖合域での調査が実施されている。

しかし、海岸への漂着ごみの調査と比べると、沿岸や沖合での海洋調査は十分には行われていない。2050年には、海洋ごみの重量が、魚の重量を上回るという報告もある。九州の西に位置する東シナ海は、四方を中国、台湾、韓国、日本に囲まれた海域で、黒潮の上流部にあたる場所となつていて。そこで、長崎大学水産学部では、2017年から、環境省の沖合海洋ゴミ実態把握調査事業の一環として、東京海洋大学を中心とした大型練習船を保有する水産系大学などとともに、東シナ海を中心とした沖合ごみの実態把握調査に取り組んできた。

この研究では、

①微細なマイクロプラスチックを含む海表面を漂う漂着ごみについて、調査が行われてきた。  
②海底に堆積するごみについて、調査が行われてきた。

その結果、長崎のまわりは世界の27倍で、その27パーセントが、家庭のごみということである。

私達は、海洋を汚染させない為には、家庭から出すごみの減量に取り組まなければならぬといつことを実感した分科会でした。



## パラリンピック選手をお迎えして

福津市地域婦人会

福津市は東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、ルーマニアの柔道選手を受け入れました。地域婦人会は、選手への朝食作りや動画での応援メッセージ、選手とのオンライン交流会に参加しました。その活動に対して、オリンピック大臣から、特に顕著な功績のあった団体に贈られるものです。

私たち地域婦人会は、市の一翼になれる団体でありたいと思っています。今回、このような機会を与えて頂きました福津市に大変感謝しております。



## 身のまわりの防災化について

大川市連合婦人会

令和3年6月26日(土)、日本防災協会 古賀信次 九州事務所長に講演していただきました。内容は、家庭内で、身のまわりのことで、火災をおこさないようにすることであった。

当日は、プロジェクトを使って、防災についての内容を上映された。防災講座では、特に、大きな金額を使わなくても、火のそばをはなれないなど、ちょっとしたことでも、火災が防げることを説明された。このように、お話を、防災の視点からきいていた。

このような機会は、日ごろから、火災に関しての、意識を高めるには重要である。特に高齢者の一人暮らしの世帯が、多くなるにつれ、あたりまえのことが、あたりまえでできなくなることも、おおくなる。このようないいお話を、防災の視点からも非常に有益であった。

## 献血により一人でも多くの人を

久留米市女性の会

猛威を振るった新型コロナウイルス。令和2年4月7日以来5度の緊急事態宣言を余儀なくされました。そして一年6ヶ月遡りに、県・市各関係機関、医療従事者、私たち市民の一致協力した懸命の感染の防止対策により9月30日すべての宣言が解除されました。

しかし、今医療現場では人間の生命を維持するために輸血は欠かすことのできない治療法となつております。特に「がん」は2人に1人という現在輸血医療が必要であるといわれております。

そこで私たち久留米女性の会では毎年二回開催される献血会に、各校区の人々や小学校PTAにも呼びかけたり、当日は広報車により採血に参加されるよう協力を呼びかけておりま

す。その結果毎回校区では約60名の方々のご協力を頂き好意と博愛の精神に感謝しておるところでございます。

## 日赤地域献血について

春日市婦人会

令和3年10月13日(水) 春日市福祉パレット館で献血を行われました。

毎年開催されるいきいきフェスティがコロナにより2年間中止となり、献血だけの案内でどれほどどの人が集まるのか心配しましたが、50人以上の方が献血に来られました。婦人会は受付と案内を担当しましたが、毎回献血されている皆さんには感心します。

コロナは身体だけでなく、やる気も損なわせる厄介なものです。

一日も早く平常に戻ることを願っています。

令和3年6月26日(土)、日本防災協会 古賀信次 九州事務所長に講演していただきました。内容は、家庭内で、身のまわりのことで、火災をおこさないようにすることであった。

当日は、プロジェクトを使って、防災についての内容を上映された。防災講座では、特に、大きな金額を使わなくても、火のそばをはなれないなど、ちょっとしたことでも、火災が防げることを説明された。このように、お話を、防災の視点からきいていた。

このような機会は、日ごろから、火災に関しての、意識を高めるには重要である。特に高齢者の一人暮らしの世帯が、多くなるにつれ、あたりまえのことが、あたりまえでできなくなることも、おおくなる。このようないいお話を、防災の視点からも非常に有益であった。

## コロナ禍での活動

添田町婦人会



コロナ禍の中、年一回の発行となりました。思うような活動が出来ない中での皆様の投稿ありがとうございました。

コロナ禍で他の地域と同じように、添田町婦人会も多く活動が自粛されています。そんな中、当初計画していた「マスク入れづくり」を取り組みました。

### 編集委員

池田穂波 安河内浩子、廣石福子、横溝敏子、

小田晴美、古場弘子、池田博子

上がりでした。

昨年、大変喜んでいただいたマスクづくりを受けて、引き続きの活動で、

今年も一人暮らしの声かけの対象である高齢者の方々と高齢者福祉施設に配布する計画です。



## コロナ禍での婦人会活動について

桂川町婦人会

令和3年度 コロナ蔓延の中、町内の公共施設は全部使用禁止となり、町内の事業はもちろん各団体の活動の中止となり、婦人会も総会を始めあらゆる活動を中止することになりました。

何か活動するものはないと模索しましたが、「3密をさける」がネックとなり集まることができません。

そんな中日赤の奉仕としている「県道の草取り」を6月26日の日射しの強い中実施しました。また、土居地区では区よりの要望で月2回公民館の掃除を実施し始めました。

商工会青年部と実施している「夏まつり桂川」も中止となりましたが、何か夏まつりに代わることは話し合い、花火をあげることに、稲刈りが終わった11月13日町内3カ所でシーケンレット花火をあげました。わずか3分間でしたが、それぞれ思いの場所で空を見上げ喜んでもらいました。

コロナ禍でワクチンで感染は少なくなり、10月から施設使用が可能となりましたので、婦人会として1がん征圧活動1日研修3レクリエーションを開いています。

3レクリエーションを開いています。1日研修ではマスク着用、3密、手洗いが実施中です。公用車の中では座席に1人ずつで腰掛け、おしゃべり禁止です。楽しみも半減しています。状況を見ながら活動を広げていきたいと思っています。

## 令和3年度 新役員紹介

福岡県婦連会長木下 幸子  
(中間市婦人会)

副会長(教育) 池田 穂波  
(那珂川市婦人会)

副会長(福祉) 川野栄美子  
(大川市連合婦人会)

地区代表(組織部会) 添田 博子  
(久留米市女性の連絡協議会)

地区代表(横溝 敏子  
(久留米市田丸地域婦人会)

地区代表(藤木利美子  
(柳ヶ郡桂川町婦人会)

地区代表(野間口幸江  
(八女市地域婦人会)

地区代表(五十嵐多恵子  
(柳ヶ郡桂川町婦人会)

地区代表(吉田 春枝  
(遠賀郡岡垣町婦人会)

地区代表(井上 節子  
(飯塚市婦人会)

地区代表(峯岡 遼子  
(鞍手郡小竹町婦人会)

地区代表(重橋 重子  
(遠賀郡水巻町婦人会)

地区代表(重松美津子  
(田川郡添田町婦人会)

地区代表(山下美知子  
(庄内女性の会)

地区代表(吉留 飴子  
(糟屋郡宇美町婦人会)

地区代表(矢野八重子  
(福津市地域婦人会)

地区代表(竹井 澄子  
(柳ヶ郡宇美町婦人会)

地区代表(小田 晴美  
(田川郡添田町婦人会)

地区代表(古場 弘子  
(田川郡添田町婦人会)

地区代表(池田 博子  
(田川郡添田町婦人会)

会計監査 委員 竹井 澄子  
(柳ヶ郡宇美町婦人会)

監査 委員 吉留 飴子  
(柳ヶ郡宇美町婦人会)

監査 委員 矢野八重子  
(福津市地域婦人会)